

優秀賞 (個人)

河野 順次さん

区の環境活動連絡会議事務局長として
他の校区を刺激し引っ張る存在。



河野順次さん



環境美化活動

町内会や校区で地域住民の先頭に立ち、自主・自立したまちづくりの推進体制を確立することに尽力。「まちづくりの地域目標」を地域住民と作成し、一緒に環境美化やごみ減量リサイクルなどに取り組んでいる。また、西区の環境活動連絡会議では事務局長を務め、他の校区を刺激し、引っ張る存在となっている。

優秀賞 (個人)

保坂 峻平さん

自分ができることから始めた活動を
校内の活動へと拡大。



自ら積極的に行動することで、周りのみんなも巻き込んでいく



高校の仲間と一っしょに



校内に設置された回収箱と、処理された牛乳パック



個人の活動として始めたペットボトルキャップや牛乳パックの回収を、在学している高校内の活動へと広げた。また、文化祭でバイオディーゼル燃料を使った啓発イベントを行いたいと、宮崎県の企業に直接交渉し協力を得て実現するなど、自ら先頭に立ち実践することで、他の生徒の環境意識の向上に大いに貢献している。学校からも特別に表彰され、他の生徒の見本となっている。

優秀賞 (市民団体)

飯盛山を愛する会

「飯盛山」を地域の財産として守り、
自然の大切さを伝える。



アジサイ道



山の木材を利用した「避難小屋」
休憩所としても利用

飯盛山を地域の財産として、地域住民や市民に更に親しんでもらおうと、民有林を10年間無償で借り受け、間伐や雑草の除去など日常の手入れを行うとともに、登山道には約1kmに渡りアジサイやモミジを植栽。また、自治協議会や公民館と連携して、カブトムシの飼育教室や薬草教室、バードウォッチングなど各種事業を実施して、自然愛護の意識向上に貢献している。



登山道にもみじを植林

優秀賞
(市民団体)

多々良川にシロウオを呼び戻す会

**シロウオの遡上100万匹を目指し、
産卵場所の保護活動に取り組む。**



観察会

平成4年に多々良川へのシロウオの遡上が確認されたことをきっかけにシロウオ遡上100万匹を目指し、川の清掃活動や観察会、掲示板への活動報告の掲載などを行いながら、元九州大学教授松井誠一氏の指導の下、産卵場所の保護に努め、自然環境の保護に貢献している。



▲石の下に産みつけられたシロウオの卵

また、夏休みに開催しているゴムボートレース大会には、毎年多くの子どもたちが参加。川に親しみながら、環境を守る大切さを伝えている。



活動報告掲示板

優秀賞
(市民団体)

ふくおか湿地保全研究会

**継続的な調査活動を実施し、
自然環境を次世代に残すための活動を展開。**



多々良川の野鳥を調査

現存する豊かな自然環境を次世代に継承するため、野生動植物とその変化を調査し記録を続け、調査結果に基づく提案を行い行政等と協力して野生動物の生息場所の保全に取り組んでいる。さらに、自然観察会や講座の開催等により、地域住民が身近な自然を共有できる機会を積極的に提供。環境省委託調査事業への協力やWWF（世界自然保護基金）との協力事業なども実施。



地域のみなさんに湿地の大切さを啓発



鳥の休憩場の実験調査（形状、素材など）

優秀賞
(事業者)

福岡家庭裁判所

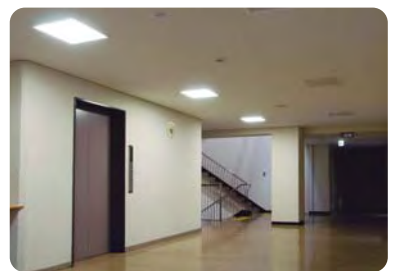
**庁舎屋上への遮光ネット設置で
独自の省エネ対策を進める。**



屋上の遮光ネット



省エネについては、「省CO₂行動ルール」の策定など計画的かつ着実な温暖化対策に加え、庁舎屋上への遮光ネット設置といった独自の取り組みを行っており、効果を上げている。この「屋上の遮光ネット設置」の取り組みは、新聞等でも取り上げられるなど、社会に対する啓発効果が高いものとなっている。また、昭和50年から毎日、庁舎周辺道路の清掃活動を実施し、地域の環境美化に貢献している。



フロアの電灯使用を半分に

優秀賞 (事業者)

株式会社ミドリ印刷

事業所トップのリーダーシップで、
環境に配慮した現場管理を徹底。



徹底したごみ分別



掲示しているほか、従業員への定期的な教育等も実施している。

整理され、清潔な工場内

事業所トップのリーダーシップの下、ISO14001を取得し環境に配慮した現場管理を徹底している。再生紙を用いた製品を可能な限り顧客に提案することを社内ルールとしており、環境に配慮した製品提供の意欲が高い。

省エネについては、従業員の目につく様々な箇所に、意識啓発ポスターを

優秀賞 (学校)

福岡工業大学附属城東高等学校

ISO14001を取得し、生徒会を中心に
「環境管理」「省エネ」「省資源」の活動を展開。



▲ごみの計量記録 エアコンの温度をチェック!▶

高等学校では数少ないISO14001を平成16年に取得。

ごみは22分別の徹底を図り、資源回収とごみの計量記録を行うことで、可能な限り減量に努めている。また、全教室に温度計を設置し室温を監視しながら無駄なエアコンの使用を抑え省エネに努めたり、駅周辺の清掃

活動や立花山清掃登山で環境美化に努めるなど、学校教育のあらゆる場面で環境活動に取り組んでいる。



立花山清掃登山



駅周辺の清掃活動

優秀賞 (学校)

めぐみ保育園

「もったいない体操」や様々な環境教育で、
保護者や地域にもったいない精神を伝える。



◀みんな元気に「もったいない体操」

無農薬であいがも農法の稲作に取り組み、土づくりから田植え、稲刈り、脱穀、精米、最後に食すという体験学習を実施。

また園オリジナルの「もったいない体操」を通して、園児や保護者にもったいない精神を伝えており、環境フェスティバルふくおかのステージイベントで披露したほか、資源回収の実施、牛乳パックや段ボール、広告紙などの古紙を教材として再利用するなど、園内活動の様々な場面で環境教育を行なっている。



あいがも農法の稲作

